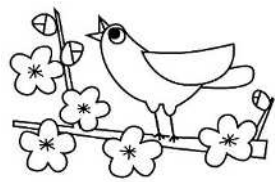


こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

新潟税務署管内 令和2年度 中学生の「税についての作文・標語」 小須戸中1年生が多数入賞



新潟税務署及び新潟税務署管内税務協力団体協議会の主催により、新潟税務署管内(新潟市秋葉区・五泉市・阿賀町)の中学生から募集している「中学生の『税についての作文』」および「中学生の『税の標語』」において、小須戸中の1年生6名が入賞しました。これは、毎年11月11日から17日を「税を考える週間」とし、次代を担う中学生に税についての関心を深めてもらうことを目的としているものです。今年度は、新潟税務署管内の中学校(13校)から、作文は5校・308編、標語は9校・1423点の作品が寄せられ、審査の結果、作文では、「新潟市長賞」として、長井万里菜さんが選ばれました。紙面では、「新潟市長賞」を受賞された長井さんの作文についてご紹介します。(*その他の入賞者は紙面下段でご紹介します。)



新潟市長賞
長井万里菜さん
(小須戸中1年)

◎中学生の『税についての作文』

テーマ「税金が皆を支える」

私は税金と聞いて、一番かかるのは消費税です。消費税は私の両親が中学生の時に、三パーセントから始まったと聞きました。そして、五パーセント、八パーセントと皆に反対されながらも上がっていききました。単純に、ダイソーとか百円で買えるものが、百十円も出さなくてはいけないので、正直高いなあと思うことがあります。でも、その十円の消費税が身近な所で大

切に使われていることを知りました。

私が今、学校で使用している教科書は、国の税金で無料で受け取ることが出来ます。そして、私の住んでいる新潟県は、雪国なので、冬になるとたくさん雪が降ります。その時の除雪の作業にも、税金が使われていることにおどろきました。

次に医療費です。体調をくずして医者や歯医者に行くと、必ずお母さんは五百三十円を払います。私の住んでいる新潟市は、中学三年生まで、通院は五百三十円で治療してくれます。二年前に亡くなったおじいちゃんも、ずっと病院に通っていたし、入院もくり返していました。でも、後期高齢者の保険証のおかげで、

おじいちゃんは負担が少なく、安心して通っていたそうです。

おじいちゃんが施設に入る時も、介護保険を使ってベッドを借りたり、身の周りをそろえる道具、そして身体介護を受けることができたそうです。私は、そういうしくみがあったのを知らなかったため、とても勉強になりました。

毎月、お父さんが一生けんめい働いて、税金がけっこう引かれていく事を聞いて、どうして給料って全額もらえないのかなと思ったりもしました。買い物に行けば、商品の値段の他に、十パーセントとられたりと、損することばかりだと感じていました。

でも、お父さんは、税金を納めることは、国民の義務だからと言います。確かに、お金を払う時は損をしたような気にもなりますが、この皆が納めている税金のおかげで、私達子どもや、お年寄りの方のためになっているんだと思うと、大人の人はすごいなと思います。税金が上がると、反対する人達もたくさん出てくると思うけど、色んな所に使われて、役に立っているのだから、税金を納めることは大事なんだと思います。

私も将来、働けるようになったら、きちんと税を納めて、子ども達やお年寄り地域の皆さんの役に立つ所で使われてほしいと思います。この税のしくみを知り、改めて税金を正しく納め、必要としている方や場所に使うてほしいと思いました。

「コロナが好きだ」



案山子さん

皆既日食の時、太陽のまわりに輪のように見える美しい光
—コロナ—
私はコロナが好きです。小学生の頃、だったるうか、皆既日食を見た時の記憶からコロナは美しいものと思っています。コロナ

ナという言葉も言い易くて好きです。
ところが、昨年からおかしな事になっていく。新聞やテレビなどは、コロナをひとり歩きさせて悪者になっている。悲しい事だ。あまりに言い易い言葉なのだろう。

最近ではコロナだけで新型コロナウイルスを差してしまっている。私は違和感を持つせいとか、新聞の記事を読んでいると、つい言い変えてしまふ。新型コロナウイルスだろう、感染禍だろう、などと。

で、日常に戻ってほしい。誰もが願っている事だが、コロナという言葉だけはそのうらな気がする。それでも私はコロナが好きです。

長井さんの他に小須戸中学校で入賞された方は次のとおりです

●作文部門

新潟県新潟地域振興局賞
「税金と支え合い」

長谷川 葵さん

新潟商工会議所会頭賞
「税の使いみち」

廣瀬 結香さん

小須戸商工会長賞
「暮らしの安全を守る税金」

新井田 たまきさん

●標語部門

新潟税務署管内租税教育推進協議会長賞
「税により 社会をつなぐ 助け合い」

阿達 陽和さん

小須戸商工会長賞
「支えよう 命や暮らし 納税で」

阿部 粧結さん

「新潟市地域包括支援センターこすど」の事業受託の終了について

新潟市社会福祉協議会(以下「社協」)が新潟市より委託を受け、小須戸出張所2階で高齢者支援の総合相談窓口として開設しておりましたが、3月31日をもって、社協としての受託を終了します。

4月1日からは、新しい事業者が受託をし、業務を引き継ぐ予定となっております。新しい事業者が決まり次第またお伝えいたします。小須戸地区の皆様には大変ご迷惑をおかけすることと思っておりますが、何卒、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

15年間地域の皆様には大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。

◆本件についての問合せ先
地域包括支援センターこすど (☎61-1855)

◎文化協会サークル紹介動画を上映します◎

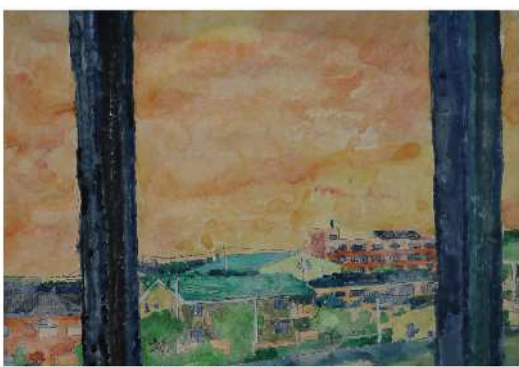
3月1日(月)～31日(水)の10時～15時までの間、小須戸まちづくりセンターロビーにおいて文化協会のサークル紹介動画を上映します。新しい習い事を始めるにあたり、サークルの内容を知るためにどうぞご覧になってください。(問合せ:文化協会事務局 白井 ☎38-5318)

池上 ころろさん
(矢代田小1年)
「そうげんにいるうしとわたしたち」



アグリパークの「ぼたん」という牛と楽しく遊ぶ様子を描きました。餌をあげたとき、よだれがたくさん出ていました。長いまつ毛と硬い爪をよく見て描きました。

鈴木 健斗さん
(小須戸小5年)
「まどから見だけしき」



3階の窓から中学校の方を見て描きました。細かい所を描いたり塗ったりするのが大変でした。空を塗るときに夕焼け空にして、ていねいに塗りました。完成してうれしかったです。

伊藤 蓮騎さん
(小須戸小1年)
「どうぶつすきだよ」



動物ふれあいセンターのアルパカとヤギとカピバラを見て描きました。工夫した所は自分と動物を大きく描き、ティッシュに絵の具を付け、ボンボンと叩いて草を描いたところです。

有馬 綾花さん
(小須戸小5年)
「いつも見ている風景」



時間割の教科ごとに色を塗り分けるところや、家の窓や屋根材を細かく塗るのに苦労しました。同じ色を使わないようにいろんな色を混ぜて描きました。

中村 心奏さん
(小須戸小6年)
「お気に入りの教室」



少し斜めから見て描きました。机も椅子もぼくが普段使っているものです。色を少しずつ混ぜて感じを出すのが難しかったです。

想像広げ 輝く個性
～第51回県ジュニア美術展受賞～
新潟県内の子どもたちの美の祭典「第51回県ジュニア美術展覧会」(新潟日報社、県教委など主催)の作品審査が1月24日に行われました。今回は、県内の幼稚園・保育園、小・中学校などから2万5262点の応募があり、特賞30点、優秀賞190点、奨励賞1840点が選ばれました。小須戸地域からは5名の子どもたちが奨励賞を受賞しました。「工夫したところ」「大変だったところ」などのひと言も含めて紹介いたします。

小須戸地区図書室 新刊案内

- 【一般書】
・『浅草迄』北野 武/著
・『旅する日曜美術館 北海道・東北・関東・甲信越・北陸』NHK「日曜美術館」制作班/編
・『旅する日曜美術館 東海・近畿・中国・四国・九州』NHK「日曜美術館」制作班/編
・『イチバン親切な手ぬいの教科書』高橋 恵美子/著
・『ヴィオラ母さん』ヤマザキ マリ/著
・『ローリングストックで!防災にそなえるレシピ』ORANGE PAGE BOOKS
・『一日一花を愉しむ花の歳時記366』金田 初代/監修、金田 洋一郎/写真
・『心とあみぐるみ』レディブティックシリーズ 8054
・『コーヒーのある暮らし』鈴木 樹/監修
【児童書】
・『クリスマスかぞえうた』西村 敏雄/さく
・『納豆の本』全国納豆協同組合連合会/総監修、宮崎 祥子/編
・『おしりたんてい おしりたんていのこい!』トロール/さく・え
・『どうぶつのおっぱいずかん』今泉 忠明/監修、高岡 昌江/文、秋草 愛/絵
・『なにかがいたる』佐藤 雅彦/作、ユーフラテス/作
・『まどのむこうのくだものなかに?』荒井 真紀/さく

秋葉区健康福祉課「健康ひとメモ」

ノロウイルスについて
急性胃腸炎を引き起こすウイルスの1つです。嘔吐、下痢、腹痛が主な症状で通常は3日以内で回復します。
予防には「手洗いの徹底」が大切です。調理・食事の前、トイレに行った後は必ず手を洗いましょう。指の間、手の甲など洗い残しのないように丁寧に洗います。
*ノロウイルスには次亜塩素酸が有効です。吐物で汚れた床、手に触れるドアノブ等の消毒で使用します(手指消毒では使用しないでください)。
<家庭用漂白剤を使用する場合の目安>
吐物で汚れた場所:水1ℓに漂白剤20ml
人の手が触れる場所:水1ℓに漂白剤4ml

短歌 (自由吟)
川柳 <夢心地>
俳句
十二月八日全天千切れ雲
一席の友の快挙や新春詠
冬の雨アメリカ人の修業留
降りつづく雪に限りはなかりけり
根雪かな弥彦角田にベレー帽
ウイリス禍たつた二人の寝正月
枕辺に母擦りくればし冬りんご
葉牡丹の渦にさらめく日差しかな
雪間から雪間へ鳥の移りゆく
馱菓子屋に千円札の夢心地
今年こそ花植え空想夢心地
浴剤の香り漂い夢心地
新婚の朝や夕やに夢心地
課長への内示妻へと急ぐ帰路
夢心地いつもフワフワ雲の上
参拝や祈る静かな感染を
軒端見て花芽ふくらみ梅の枝
寒さに凜と春はすぐそこ
戦すテレビの競馬相撲をば
老の残り火かきたて乍ら
右上の何時もくせ字年賀状
健在の友ほほえみて見ゆ
久保ミネ子 高橋キヨ 玲泉 奉和 保科志枝 会田栄二 保科修郎 浄井都留 増井都留 能登としお 熊倉ひろむ 佐久間久子 間野えり 風間幸子 吉田松子 馬場綾子 吉澤文子 本多玲子 中野太浪
俳句・川柳・短歌募集
題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、2月19日(金)までに小須戸地区公民館へ。
(※投稿が21句を超えた場合は先着での掲載となります。)

文芸欄

《山遊さん》～山に遊びに行きませんか～ 参加者募集!

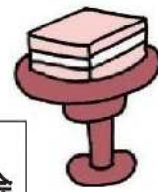
矢代田の子どもたちは旧暦の桃の節句(4月3日)に、ひな祭りのひし餅にならない『ひし形餅』をもって山へ遊びに行き、一日中楽しんでさうです。このならわしを復活させ、みんなで山へ遊びに行きませんか!

- ◆日 時 令和3年4月3日(土)
8時45分大沢森林公園集合
9時出発 12時解散(予定)
◆参加費 300円(餅代・保険料)当日受付でお支払ください。
◆持ち物・服装 タオル、飲み物、雨具、マスク
山に登りますので動きやすい服装と靴でお越しください。

※注意事項 小学生以下の方は保護者同伴をお願いします。
トイレは大沢公園にしかありません。ご注意ください。
新型コロナウイルスの影響により中止となる場合があります。

- ◆行程 9時 大沢公園⇒11時 高立山(休憩)
⇒12時 大沢公園
※状況により、変更になる場合があります。
※雨天の場合は、ふれあい会館にてレクリエーション等を行う予定です。
◆定員 30名(先着順)
◆問合せ・申込 小須戸地区ふれあい会館へ電話(9時～17時)でお申し込みください。
電話:0250-38-3151
※休館日:月曜・祝日
※申込締切3月28日(土)

共催 小須戸地区スポーツ振興会
山の手コミュニティ協議会・小須戸コミュニティ協議会



編集委員の つぶやき 秋葉区周辺の冬の風物詩となっている、田園地帯のハクチョウたち。夜が明けると瓢湖の方から隊列を組んで飛んできては、夕方に帰って行く。そんなハクチョウたちも、もうすぐ北へ飛んでいくのだろう。春が近いと思うと嬉しいとは思うのだが…。(ふ)